



2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年11月9日

上場会社名 大栄環境株式会社 上場取引所 東
コード番号 9336 URL <https://www.dinsgr.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 金子 文雄
問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長 (氏名) 井上 吉一 TEL 078-857-6600
四半期報告書提出予定日 2023年11月9日 配当支払開始予定日 -
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト）

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	35,504	9.3	9,449	32.2	10,162	38.7	6,561	37.7
2023年3月期第2四半期	32,492	-	7,147	-	7,326	-	4,763	-

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 6,741百万円 (37.4%) 2023年3月期第2四半期 4,907百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	65.71	-
2023年3月期第2四半期	52.02	-

(注) 1. 当社は、2022年3月期第2四半期については四半期連結財務諸表を作成していないため、2023年3月期第2四半期の対前年同四半期の増減率については記載しておりません。

(注) 2. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	158,497	82,208	51.6
2023年3月期	163,615	78,969	48.0

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 81,799百万円 2023年3月期 78,487百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	-	0.00	-	34.00	34.00
2024年3月期	-	0.00	-	-	-
2024年3月期（予想）	-	-	-	40.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	71,580	5.8	18,518	11.4	19,374	16.0	12,451	18.6	124.82

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：有
- ④ 修正再表示：無

(注) 詳細は、添付資料P. 10「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計上の見積りの変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期2Q	99,892,900株	2023年3月期	99,892,900株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	33,048株	2023年3月期	—株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期2Q	99,862,451株	2023年3月期2Q	91,577,900株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算補足説明資料はT D n e t 及び当社ウェブサイトで同日開示しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) キャッシュ・フローに関する説明	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(会計上の見積りの変更)	10
(セグメント情報)	11
(重要な後発事象)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、米国経済指標の力強さを背景にした円安の進行や金融引き締めに伴う景気下押しリスクなど、先行き不透明な状況ではあるものの、経済活動の正常化に向けた動きがより一層進んでおります。

このような状況のもと、2023年5月に稼働開始した三木バイオマスファクトリーの2023年10月からの本格稼働に向けた試運転を順調に進めるとともに、インフラ開発案件に伴う廃棄物処理需要の獲得を進めた結果、第2四半期連結累計期間としては過去最高の業績となりました。

また、循環経済への移行を加速するため、動静脈連携による強靱な資源循環市場や地域循環共生圏の創出・拡大が進められていることから、当社グループは2023年4月の「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」第48条第1項第2号に基づく再資源化事業計画の認定を取得し、パートナー企業や自治体との連携による廃プラスチック資源循環システムの構築を推進してまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、次のとおりとなりました。

(単位：百万円)

	2023年3月期 第2四半期 連結累計期間	2024年3月期 第2四半期 連結累計期間	増減額	増減率
売上高	32,492	35,504	3,011	9.3%
営業利益	7,147	9,449	2,302	32.2%
営業利益率	22.0%	26.6%	+4.6pt	—
経常利益	7,326	10,162	2,835	38.7%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	4,763	6,561	1,797	37.7%
EBITDA	9,910	12,205	2,294	23.1%
EBITDAマージン	30.5%	34.4%	+3.9pt	—

(注) 1. EBITDA＝営業利益＋減価償却費＋のれん償却額

2. EBITDAマージン＝EBITDA／売上高

セグメントごとの業績は、次のとおりであります。

(単位：百万円)

		2023年3月期 第2四半期 連結累計期間	2024年3月期 第2四半期 連結累計期間	増減額	増減率
環境関連事業	売上高	31,330	34,572	3,242	10.3%
	セグメント利益	7,163	9,574	2,410	33.6%
その他	売上高	1,162	931	△230	△19.8%
	セグメント利益 又は損失(△)	72	△45	△118	—

(環境関連事業)

「廃棄物処理・資源循環」において、廃棄物受入量は1,113千トン（前年同期比22.9%増）となりました。これは、関西・中部地方を中心とするインフラ開発案件に伴う廃棄物処理需要を獲得できたことによるものであります。

「土壌浄化」において、汚染土壌受入量は202千トン（前年同期比43.1%減）となりました。これは、大型案件の終了に加えて、最終処分場で受け入れる汚染土壌の受注単価を見直したことによるものであります。

利益面においては、継続的な内製化によるコスト削減を進めております。

これらにより、売上高は34,572百万円（前年同期比10.3%増）、セグメント利益は9,574百万円（前年同期比33.6%増）となりました。

(その他)

「アルミパレット」においては、アルミ市況が下落基調から横ばいとなったものの、国内における粗鋼生産の減少による需要減により、アルミパレットの販売量が減少しました。

「リサイクルプラスチックパレット」においては、前期並みに推移しました。

これらにより、売上高は931百万円（前年同期比19.8%減）、セグメント損失は45百万円（前年同期はセグメント利益72百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(単位：百万円)

	2023年3月期 連結会計年度	2024年3月期 第2四半期 連結会計期間	増減額	増減率
資産	163,615	158,497	△5,118	△3.1%
負債	84,646	76,288	△8,358	△9.9%
純資産	78,969	82,208	3,239	4.1%
自己資本比率	48.0%	51.6%	+3.6pt	—

(資産の部)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は158,497百万円（前連結会計年度末比5,118百万円の減少）となりました。

流動資産は57,018百万円（前連結会計年度末比9,049百万円の減少）となりました。これは主に、現金及び預金の前連結会計年度末比8,895百万円、有価証券が1,683百万円減少したことによります。

固定資産は101,147百万円（前連結会計年度末比4,007百万円の増加）となりました。これは主に、有形固定資産が1,411百万円、投資その他の資産が2,697百万円増加したことによります。有形固定資産の増加は主に、建物及び構築物が5,499百万円、機械装置及び運搬具が10,810百万円増加し、建設仮勘定が14,168百万円減少したことによります。機械装置及び運搬具は、主に当社伊賀リサイクルセンターのメタン発酵施設及び三木リサイクルセンターのバイオマスファクトリーの設置に伴う増加となります。

(負債の部)

当第2四半期連結会計期間末における負債は76,288百万円（前連結会計年度末比8,358百万円の減少）となりました。

流動負債は25,243百万円（前連結会計年度末比994百万円の減少）となりました。これは主に、買掛金が396百万円減少したことによります。

固定負債は51,044百万円（前連結会計年度末比7,364百万円の減少）となりました。これは主に、長期借入金6,431百万円減少したことによります。

(純資産の部)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は82,208百万円（前連結会計年度末比3,239百万円の増加）となりました。これは主に、配当金の支払いがあったものの、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が3,165百万円増加したことによります。

(3) キャッシュ・フローに関する説明

(単位：百万円)

	2023年3月期 第2四半期 連結累計期間	2024年3月期 第2四半期 連結累計期間	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,371	9,193	1,822
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,116	△9,209	△2,092
フリー・キャッシュ・フロー	255	△15	△270
財務活動によるキャッシュ・フロー	△10,980	△10,663	316

(注) フリー・キャッシュ・フロー＝営業活動によるキャッシュ・フロー＋投資活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べて10,441百万円減少し、42,974百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは9,193百万円の収入（前年同期は7,371百万円の収入）となりました。これは主に、法人税等の支払額3,528百万円があったものの、税金等調整前四半期純利益10,178百万円、減価償却費2,656百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは9,209百万円の支出（前年同期は7,116百万円の支出）となりました。これは主に、投資有価証券の取得による支出1,843百万円、有形固定資産の取得による支出7,405百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは10,663百万円の支出（前年同期は10,980百万円の支出）となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出6,470百万円、配当金の支払額3,390百万円によるものであります。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の連結業績予想につきましては、2023年5月12日に公表いたしました通期の業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日（2023年11月9日）公表いたしました「2024年3月期第2四半期連結業績予想と実績との差異及び通期連結業績予想の修正並びに配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	51,410	42,515
受取手形及び売掛金	10,089	10,582
有価証券	3,398	1,714
製品	234	133
仕掛品	25	4
原材料及び貯蔵品	273	268
その他	656	1,800
貸倒引当金	△19	△1
流動資産合計	66,068	57,018
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	19,571	25,071
機械装置及び運搬具（純額）	12,118	22,929
最終処分場（純額）	7,279	6,377
土地	18,661	18,774
建設仮勘定	20,843	6,675
その他（純額）	2,045	2,102
有形固定資産合計	80,519	81,931
無形固定資産		
のれん	812	714
その他	544	541
無形固定資産合計	1,357	1,255
投資その他の資産		
投資有価証券	3,446	5,981
繰延税金資産	1,177	1,341
その他	10,668	10,672
貸倒引当金	△29	△35
投資その他の資産合計	15,263	17,960
固定資産合計	97,139	101,147
繰延資産		
株式交付費	407	331
繰延資産合計	407	331
資産合計	163,615	158,497

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,143	2,746
1年内償還予定の社債	1,140	1,055
1年内返済予定の長期借入金	12,743	12,704
未払法人税等	3,010	3,318
賞与引当金	900	1,100
資産除去債務	48	48
その他	5,250	4,270
流動負債合計	26,237	25,243
固定負債		
社債	2,795	2,290
長期借入金	46,482	40,050
繰延税金負債	60	38
退職給付に係る負債	848	857
資産除去債務	7,585	7,198
その他	637	609
固定負債合計	58,408	51,044
負債合計	84,646	76,288
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,907	5,907
資本剰余金	12,622	12,657
利益剰余金	59,287	62,453
自己株式	—	△68
株主資本合計	77,817	80,949
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	642	819
退職給付に係る調整累計額	27	29
その他の包括利益累計額合計	669	849
非支配株主持分	482	409
純資産合計	78,969	82,208
負債純資産合計	163,615	158,497

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	32,492	35,504
売上原価	18,977	19,990
売上総利益	13,515	15,513
販売費及び一般管理費	6,368	6,063
営業利益	7,147	9,449
営業外収益		
受取利息	30	60
受取配当金	35	61
持分法による投資利益	29	32
為替差益	270	670
その他	230	188
営業外収益合計	597	1,013
営業外費用		
支払利息	167	128
株式交付費償却	—	76
物品売却費用	77	82
通貨スワップ評価損	169	—
その他	4	14
営業外費用合計	418	300
経常利益	7,326	10,162
特別利益		
固定資産売却益	22	18
その他	16	3
特別利益合計	38	22
特別損失		
固定資産売却損	1	1
固定資産除却損	5	4
その他	0	—
特別損失合計	6	6
税金等調整前四半期純利益	7,358	10,178
法人税、住民税及び事業税	2,789	3,880
法人税等調整額	△202	△263
法人税等合計	2,586	3,616
四半期純利益	4,772	6,561
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	8	△0
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,763	6,561

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	4,772	6,561
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	146	177
退職給付に係る調整額	△11	2
その他の包括利益合計	135	179
四半期包括利益	4,907	6,741
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,898	6,741
非支配株主に係る四半期包括利益	8	△0

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	7,358	10,178
減価償却費	2,653	2,656
のれん償却額	110	98
持分法による投資損益 (△は益)	△29	△32
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△51	△12
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△17	11
賞与引当金の増減額 (△は減少)	153	200
受取利息及び受取配当金	△66	△121
支払利息	167	128
為替差損益 (△は益)	△226	△643
通貨スワップ評価損益 (△は益)	169	△5
固定資産売却損益 (△は益)	△20	△17
固定資産除却損	5	4
売上債権の増減額 (△は増加)	342	△493
仕入債務の増減額 (△は減少)	△649	△396
未払金の増減額 (△は減少)	215	85
その他	810	1,068
小計	10,924	12,709
利息及び配当金の受取額	94	119
利息の支払額	△162	△107
法人税等の支払額	△3,484	△3,528
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,371	9,193
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△1	△1,843
投資有価証券の売却及び償還による収入	144	7
有形固定資産の取得による支出	△7,923	△7,405
有形固定資産の売却による収入	62	20
資産除去債務の履行による支出	△171	△24
持分法適用関連会社株式の取得による支出	△100	—
担保に供している預金の増減額 (△は増加)	1,139	—
その他	△265	36
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,116	△9,209
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	500	—
長期借入金の返済による支出	△7,906	△6,470
社債の償還による支出	△640	△590
自己株式の取得による支出	—	△103
配当金の支払額	△2,747	△3,390
その他	△186	△108
財務活動によるキャッシュ・フロー	△10,980	△10,663
現金及び現金同等物に係る換算差額	382	237
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△10,341	△10,441
現金及び現金同等物の期首残高	58,294	53,416
現金及び現金同等物の四半期末残高	47,952	42,974

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

(資産除去債務の見積りの変更)

当第2四半期連結会計期間において、当社グループの廃棄物最終処分場埋立終了後の維持管理費用に基づき計上している資産除去債務について、直近の維持管理費用の新たな情報の入手に伴い、既設最終処分場について見積りの変更を行いました。

この見積りの変更による減少額394百万円は、変更前の資産除去債務残高から減額しております。

なお、当該見積りの変更により、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ106百万円増加しております。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 3	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 4
	環境関連事業				
売上高					
外部顧客への売上高	31,330	1,162	32,492	—	32,492
セグメント間の内部売上高 又は振替高	18	6	24	△24	—
計	31,348	1,169	32,517	△24	32,492
セグメント利益	7,163	72	7,236	△89	7,147

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、有価資源リサイクル事業であります。

2. 管理部門等の報告セグメントに帰属しない本社費用については、合理的な配賦基準により各事業セグメントへ配賦しております。

3. セグメント利益の調整額△89百万円は、セグメント間の連結調整であります。

4. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 3	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 4
	環境関連事業				
売上高					
外部顧客への売上高	34,572	931	35,504	—	35,504
セグメント間の内部売上高 又は振替高	14	4	19	△19	—
計	34,587	936	35,524	△19	35,504
セグメント利益又は損失(△)	9,574	△45	9,528	△78	9,449

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、有価資源リサイクル事業であります。

2. 管理部門等の報告セグメントに帰属しない本社費用については、合理的な配賦基準により各事業セグメントへ配賦しております。

3. セグメント利益又は損失(△)の調整額△78百万円は、セグメント間の連結調整であります。

4. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

当社は、2023年9月20日開催の取締役会において、会社法第459条第1項の規定による定款の定めに基づき、自己株式取得に係る事項について決議し、自己株式の取得を以下のとおり実施いたしました。

(1) 自己株式の取得を行う理由

株主還元及び資本効率の向上並びに経営環境に応じた機動的な資本政策の遂行を可能とするとともに、企業価値の持続的向上へのインセンティブとしての譲渡制限付株式報酬を将来的に活用することができるよう取得を行うものであります。

(2) 自己株式取得に関する取締役会の決議内容

①取得する株式の種類

当社普通株式

②取得する株式の総数

1,500,000株(上限)

③株式の取得価額の総額

3,750百万円(上限)

④取得する期間

2023年9月21日～2024年9月20日

⑤取得の方法

東京証券取引所における市場買付

(3) 四半期報告書提出日の属する月の前月末現在における自己株式の取得状況

①上記取締役会決議に基づき2023年9月21日から2023年9月30日までに取得した自己株式
該当事項はありません。

②上記取締役会決議に基づき2023年10月1日から2023年10月31日までに取得した自己株式

取得した株式の総数 300,000株

株式の取得価額の総額 646百万円